


羽ばたけ! TUT2021 後期 報告書概要

2 系 B4 年 氏名 TAN WEN EN

参加プログラム名	“Online Australian Experience: English & Activities”
研修期間	2022年 2月 28日 ~ 3月 11日
研修先機関名・所在国	Southern Cross University, Australia
研修の概要 (研修テーマ、課題、目標・目的や主な研修活動内容、研修で達成したこと等を簡潔にまとめて書いて下さい)	<p>本プログラムでは、色々な日本の大学の学生が参加していて、オンラインで研修を実施しました。人々の価値観や考え方などが異なっているため、このプログラムを通して、私は日本の文化だけではなく、他の国の文化に触れることで多面的な考え方ができ、各国や民族の文化をお互いに尊敬するという価値観を身につけたいと思います。主な研修活動内容は、オーストラリアサザンクロス大学の教員によるオーストラリアの有名地、生活文化、食文化などについての交流を行って、コアラ病院、ウルル、バイロン・ベイ、トゥーローナ川をバーチャルで見学しました。また、ホームステイファミリーも実際に受けている家庭の方がリアルタイムで家を紹介してくれて、英語で色々なことを話しました。こういうプログラムによって、2週間に文法、リスニング、スピーキング、プレゼンテーションのスキルを高めました。今回のオンライン研修プログラムを通して、オーストラリアの文化を学びながら、英語を話す自信が高まり、スピーキング能力が高めることが感じて、とても充実した時間を過ごしました。その他、学生同士にはグループのディスカッションがあるため、他の大学の友達もできて、本当に嬉しかったです。</p>
活動写真1枚 (修了証の写真でも可)	

羽ばたけ! TUT2021 報告書

研修内容

① 参加の目的や動機

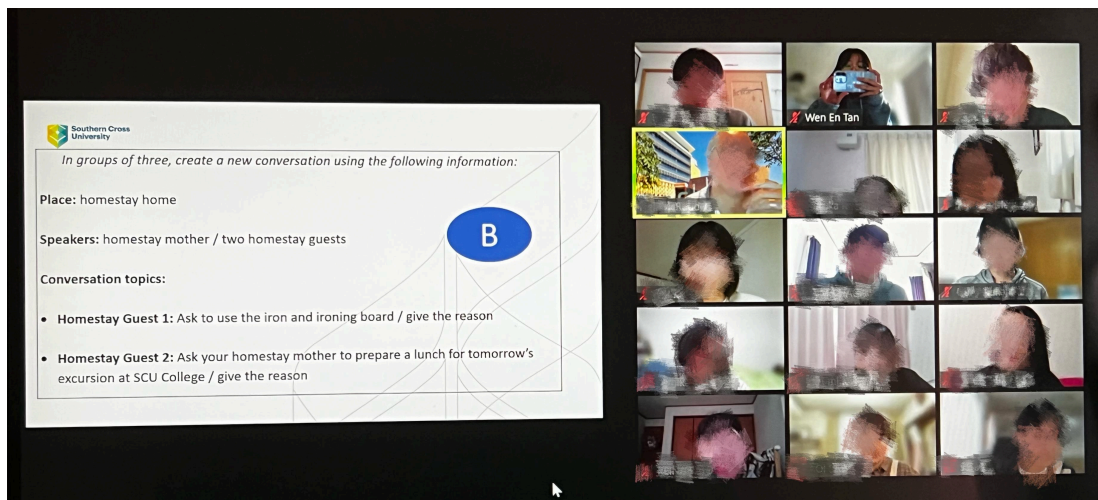
このプログラムを通して、オーストラリアの文化を知りたくて、視野や考え方を広げたいと思います。人々の価値観や考え方などが異なっているため、日本の文化以外、他の国の文化に触れることでたくさんの価値観を受けて、多面的な考え方ができると思います。もし、こういう価値観を持っていると、各国や民族の文化をお互いに尊敬することができ、文化交流により、人々の心を結び付けたいと思います。

② 研修内容

主な研修活動内容は、オーストラリアサザンクロス大学の教員によるオーストラリアの有名地、生活文化、食文化などについての交流を行いました。また、ホームステイファミリーも実際に受けている家庭の方と色々なことを話しました。

「Australia Culture Session & English Language Session」

英語とオーストラリアの文化の勉強では、リスニング、スピーキング、文法を磨くため、毎日の午前中に行われました。勉強のセッションですが、クイズなどの活動もあるため、英語勉強しながら、課題も楽しく取り組むことができました。また、英語で質問、誘う、お願い、意見を提出することなどの日常会話を学んで、小グループで学生同士お互いに会話練習をしました。小グループで課題や会話練習を早めに終わったとき、学生同士には雑談などもやって、楽しかったです。皆さんは日本人ですが、すべての会話は日本語じゃなくて、頑張って英語で行いました。



「Virtual Tour」

バーチャルツアーでは、オーストラリアサザンクロス大学、コアラ病院、ウルル、バイロン・ベイ、トウローナ川などオーストラリアの有名地をバーチャルで見学しました。見学の形式がいくつかあって、リアルタイムでの見学、ウェブサイトに入って自分で探索する、有名地のビデオをみるという形式です。私一番好きな形式はウェブサイトに入って自分で探索することです。バーチャルですが、自分が興味持っているところを見に行くのがすごく楽しかったです。コアラが絶滅危惧種のため、病気や怪我しているコアラを受けて治るまで世話する病院はコアラ病院です。また、ウルルは私最も好

きな観光地で、太陽の光の反射によるウルルの色が段々変わっていくのは不思議だと思います。物語から、ウルルは先住民の聖地だと分かりました。

「Global Communication」 & 「Virtual Homestay」

グローバルコミュニケーションは、週 1 回行われました。現地のボランティアは、日本とオーストラリアの文化差を交流して、オーストラリアの街とイベントなどを紹介してくれました。

バーチャルホームステイは、週 1 回 1 時間ぐらい行われました。ホームステイファミリーも実際に受けている家庭の方がリアルタイムで家を紹介してくれて、英語で色々なことを話しました。また、私達もホームステイホストに日本の特別のフェスティバル、食べ物、服装などを紹介しました。

「Presentation」

最後の日に、グループプレゼンテーションを行いました。私のグループは 3 人で、「Hokkaido Snow Festival」という日本のフェスティバルを題にしました。前日に、発表することが決まって、急いで準備しましたが、グループメンバーも協力して、気楽に雑談しながら発表資料を完成しました。本番のプレゼンテーションが上手くいったから、本当に良かったです。

③ 研修の成果、研修で獲得したもの、当初設定した行動目標の達成度、問題点

2 週間で文法、リスニング、スピーキング、プレゼンテーションのスキルを高めました。今回のオンライン研修プログラムを通して、オーストラリアの文化を学びながら、英語を話す自信が高まり、スピーキング能力が高まることを感じて、とても充実した時間を過ごしました。その他、学生同士にはグループのディスカッションがあるため、他の大学の友達もできて、本当に嬉しかったです。

行動目標 1 「自信を築くこと」に対して、9 割ぐらい達成したと思います。日本来てから英語を話さない私が、今回のプログラムで積極的な意識を持っていて、どんどん発言しました。そのため、研修前に「自分を疑う」ということもなくなりました。行動目標 2 「参加者との交流」に対して、7 割ぐらいだけ達成したと思います。これは、授業中に皆さんが真面目に授業を受けるため、交流時間がグループディスカッションだけあるため、時間的にちょっと少ないと思いました。

④ 今後の目標、課題、当初設定した「研修後に実践する行動目標」の見直し

「英語文法とスピーキングを高めたい」という事後行動目標を設定しましたが、やっぱり、文法、リスニング、リーディング、スピーキングの 4 つを同時に進めないといけないと思いました。そのため、TED を毎日 1 つを 3 回行いたいと思います。1 回目は字幕ありで TED を聞くことで分からない単語を調べて、会話内容を理解します。2 回目は字幕なしで TED を聞くことでリスニングを練習します。3 回目は TED 中の会話を繰り返すことでスピーキングの練習をやりま。

⑤ その他感想など

今回の研修は、オンラインでやりましたが、機会があれば、1 回オーストラリアに行きたいと思います。